見せられる背中　宇梶 秀夫

子供たちが教室で夢中で勉強している姿、あるいは運動場で無邪気に遊んでいる姿を見て、この子供たちと同じ頃の自分はどうだったか思い出してみることがある。自分の恩師である先生はどうだったか、割と細かに子供ながら観察していたように思う。子供たちは見ていないようでも大人を見ているのである。温かく見守る顔、やさしい顔、真剣な顔、品位のある仕草など等、自分ができるパフォーマンスがあると思う。子供たちの眼に、この「見せられる背中」はどんな風に映っているでしょうか。

続けることが“元気の証　星川 雄

会社生活を離れて約４年、当会に参加させて頂いて３年と少しが過ぎました。自由人となって好きな“パソコンやデジカメいじり”など趣味のデジタルライフの充実と、当会活動によって“地域社会のお役に立ちたい”というのが私の第二の人生目標です。理事として会の運営に参画させて頂く事で、会員の皆様のお役にたてれば、これも地域社会への貢献に繋がると思っています。個人的な趣味も当会での活動も、好きでやっていることで、長く続けられることが“元気の証”だと思っています。

町つくりについて　大島 興洋

平成１９年度より「町つくり」と「経理」を担当しています。当会の収入の大部分は年会費とパソコンを主とした事業から成り立っています。現代表理事の尽力で町作りとして会員の活動の場を広げたいと商店会の行事への参加、学生が運営する店「カウッパ」の管理人、交通量調査などをやってきました。しかし期待した「さくらシティ日立」のステージの管理は残念ながら中止となりましたが、町おこしや高齢化社会に伴う仕事などこれかもパソコン関係以外で会員の皆さんが活動できる場を作っていきたいと思っております。

教えてあげられる喜び　久保 裕

本会の「設立趣旨」を改めて読み直してみました。現代のマニアックに発展し続けているパソコンを高齢者やご婦人が、「パソコンを始めたいんだけれど」とおそるおそる事務所に足を運んで来られたり、電話をかけて来られます。初心者のお話をよくを聞いてあげることが大事です。指導する立場の会員は「教えてやる」ではなく「教えてあげられる喜び」を忘れないでください。これは代表の言う「報酬は相手の笑顔」にも通じることだと思います。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ワーキング活動等☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

俳句の会、10 月で 42 回　桜井 キミ子

平成 17 年 5 月に第１回俳句会を開いてから、毎月１回の句会を重ね、１０月で４２回となりました。多忙なお仕事の傍ら「継続は力なり」で上達しています。

今まで気付かなかった、美しい日本語、植物、自然などに感動し、脳の活性化に役立っております。車椅子生活で来所出来ない方もメールで句会に参加し、俳句を楽しみ生き甲斐となっていらっしゃる方もおります。ご希望の方はいつでもどうぞ。

ハーモニカライフを楽しむ　三宅 伍

数年前、高橋早都子(世界チャンピオン)の演奏を聴きその美しい音色に魅せられてハーモニカを始めました。それ以来数人の仲間と月 2 回練習をし、その合間にいろいろな事を語り合い楽しんでいます。時々老人ホームなどを訪問して懐かしい曲を演奏し、一緒に歌うことで大変喜ばれています。ハーモニカは複式呼吸で吹くことが要求され健康にも良いと言われています。これからも仲間とハーモニカライフを楽しみたいと思っています。

デジタル写真同好会　小林 明光

今年の活動状況は、1～4 月はレタッチ技術の向上等充電期間として活用して、5 月から撮影に出かけました。5 月は 1 泊して残雪の飯豊山の麓、山形県小国町に行き、白い山、雪解け水の奔流、ブナ林、新緑、そして運よく出会った山焼きの日の撮影を楽しみました。7 月はニッコウキスゲで黄色いじゅうたんを敷いたような福島県雄国沼、9 月は栃木県那須町の簑沢の彼岸花の撮影を楽しみました。加えて、8 月の交流会での、作品の人気投票も印象深いものでした。

夏の交流会に参加して　村山　俊子

“先生の笑顔に会える木曜日”のパソコン講座午前の部でお世話になっています。今年の夏の交流会に微力ながらお手伝いする機会に恵まれ、参加させて頂きました。内田代表をはじめ普段お目にかかることの出来ない先生方とチームワーク良く開始時間までに準備完了、皆様方を笑顔でお迎えする事が出来ました。お手伝いできた事を感謝致します。